

マイクロマシン／MEMS 分野関連 【2019年7月の経済報告】

令和1年7月23日

本稿は、マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。2019年7月の経済報告をお届けします。

掲載内容

1. 全般動向（内閣府発表 景気動向指数より）
2. 各経済指標
 - ・内閣府公表 月例報告、機械受注統計調査報告 より
 - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

1. 全般動向

■ 景気動向指数（内閣府、令和元（2019）年7月5日発表） （令和元（2019）年5月分速報2019年4月分（速報）より抜粋）

5月のCI(速報値・平成27(2015)年=100)は、先行指数：95.2、一致指数：103.2、遅行指数：105.0となった(注)。

先行指数は、前月と比較して0.7ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。3か月後方移動平均は0.53ポイント下降し、11か月連続の下降となった。7か月後方移動平均は0.55ポイント下降し、12か月連続の下降となった。

一致指数は、前月と比較して1.1ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。3か月後方移動平均は0.56ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。7か月後方移動平均は0.10ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。

遅行指数は、前月と比較して0.4ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。3か月後方移動平均は0.16ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。7か月後方移動平均は0.13ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。

詳細は以下の内閣府HPをご参照下さい。（景気動向指数の概要 pdf へ）

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/201905psummary.pdf>

2. 各経済指標

■ 月例経済報告（内閣府、令和元年7月23日公表） （月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料より）

<日本経済の基調判断>

（現状）

- ・景気は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復している。

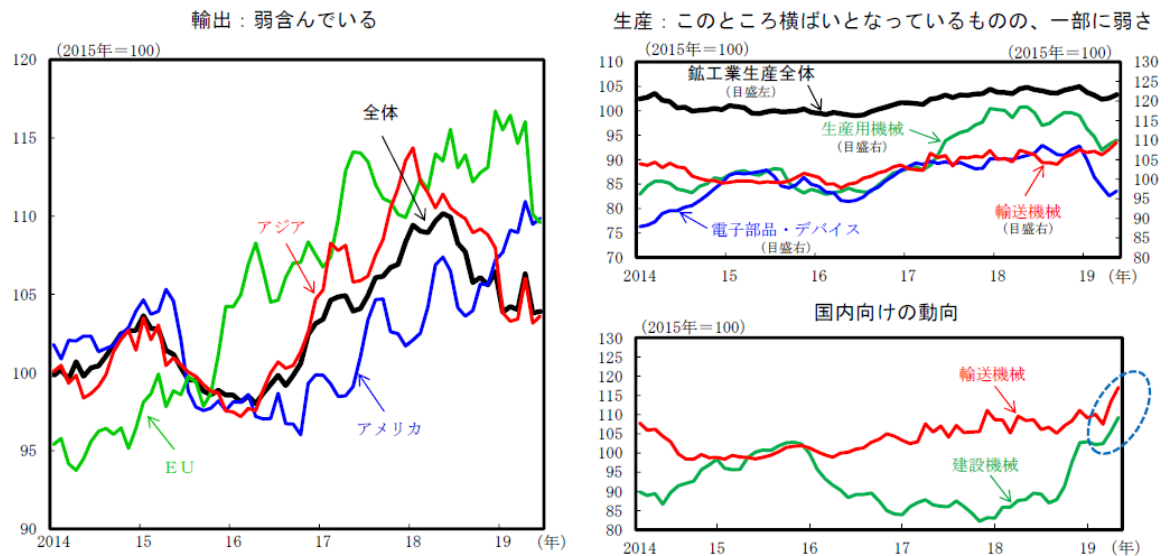
（先行き）

- ・先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響に一層注意するとともに、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

今月のポイント(1)

－輸出と生産の最近の動向－

- 輸出は、中国経済の減速や世界的な情報関連財需要の一服等の影響により、弱含んでいる。
- こうした輸出の弱含みを受けて、生産用機械や電子部品など生産の一部には弱さが続いている。一方、内需の底固さを背景に、国内向け生産では自動車など輸送機械、建設機械が増加している。



(備考) 1. 財務省「貿易統計」、経済産業省「鉱工業指数」「鉱工業出荷内訳表」、日本銀行「企業物価指数」、日本建設機械工業会により作成。

2. 左図は、内閣府による季節調整値。3か月移動平均値。直近は、2019年6月。

3. 右上図は、経済産業省公表の季節調整値。3か月移動平均値。直近は、2019年5月。

4. 右下図について、輸送機械は経済産業省公表の国内向け出荷指数（季節調整値）。建設機械は、経済産業省公表の建設・鉱山機械の出荷指数の変化率に、日本建設機械工業会公表の出荷金額の変化率のうち国内向けの寄与度（企業物価指数により実質化）を乗じて、簡易的に算出したもの（鉱工業指数の季節指数により季節調整済み）。いずれも、3か月移動平均値。直近は、2019年5月。

詳細は以下の内閣府 HP をご参照下さい。（月例経済報告資料 pdf へ）

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2019/07kaigi.pdf>

■ 設備投資（令和元年7月8日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋）
2019（令和元）年5月実績： 機械受注統計調査報告

機械受注総額の動向をみると、2019（平成31）年4月前月比4.3%増の後、2019（令和元）年5月は同6.0%減の2兆2,119億円となった。

需要者別にみると、民需は前月比8.0%減の1兆35億円、官公需は同19.5%増の3,521億円、外需は同0.8%減の8,015億円、代理店は同0.4%増の1,315億円となった。

民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、2019（平成31）年4月前月比5.2%増の後、2019（令和元）年5月は同7.8%減の8,429億円となった。このうち、製造業は同7.4%減の3,706億円、非製造業（除く船舶・電力）は同9.0%減の4,710億円となった。

対前月(期)比

(単位:%)

需要者	期・月	2018年 (平成30年)			2019年 (平成31年)		2019年 (平成31年)			2019年 (令和元年)
		4-6月 (実績)	7-9月 (実績)	10-12月 (実績)	1-3月 (実績)	4-6月 (見通し)	2月 (実績)	3月 (実績)	4月 (実績)	5月 (実績)
受注総額		1.8	1.7	2.5	-10.4	10.9	5.4	-4.3	4.3	-6.0
民需		7.3	1.2	-5.7	-0.9	9.7	-1.1	-3.5	10.7	-8.0
〃 (除船電)		1.6	1.5	-3.2	-3.2	15.7	1.8	3.8	5.2	-7.8
製造業		4.7	-1.0	-4.1	-7.7	11.7	3.5	-11.4	16.3	-7.4
非製造業(除船電)		0.4	3.4	-1.9	-0.3	18.8	-0.8	13.4	1.2	-9.0
官公需		4.4	17.9	-6.3	-24.1	48.5	2.2	-37.7	93.4	19.5
外需		-1.0	-0.5	10.4	-12.3	1.1	19.0	9.0	-24.7	-0.8
代理店		2.9	-0.6	4.4	-5.7	3.8	-8.8	7.6	4.4	0.4

(備考) 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

詳細は以下の内閣府 HP をご参照下さい。

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/1905juchu.html>

■ 鉱工業指数調査（経済産業省 2019年7月12日発表 より抜粋）

【2019年5月分】

鉱工業指数（生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数）、製造工業生産予測指数
～ 製造業の動きから見る日本の景気 ～

<概況>

- ・製造工業稼働率指数は、103.9で前月比1.7%の上昇であった。
- ・製造工業生産能力指数は、97.9で前月比0.0%の横ばいであった。

製造工業生産能力指数、2015年=100

生産能力	原指数		
	指数	前月比(%)	前年同月比(%)
	97.9	0.0	-0.5

製造工業稼働率指数、2015年=100

稼働率	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比(%)	指数	前年同月比(%)
	103.9	1.7	99.7	-0.1

鉱工業指数、2015年=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比	指数	前年同月比
生産 (速報値)	104.9 (105.2)	2.0 (2.3)	97.8 (98.1)	-2.1 (-1.8)
出荷 (速報値)	104.0 (104.3)	1.3 (1.6)	95.3 (95.5)	-1.8 (-1.5)
在庫 (速報値)	104.3 (104.4)	0.5 (0.6)	105.1 (105.2)	1.5 (1.6)
在庫率 (速報値)	106.4 (106.3)	1.7 (1.6)	114.4 (114.3)	4.5 (4.4)

なお、詳細は以下の経済産業省 HP をご参照下さい。

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

<2019年5月の製造工業生産能力指数・稼働率指数の動向>

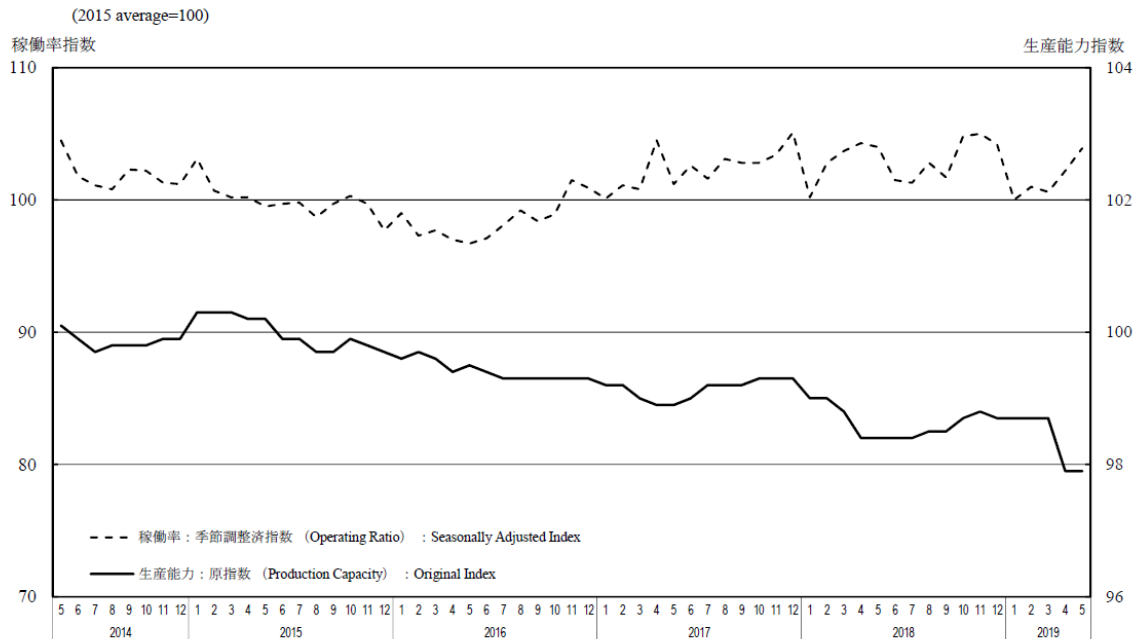
- (1) 5月の製造工業生産能力指数は、97.9で前月比0.0%の横ばいであった。
業種別にみると、生産用機械工業同0.1%、パルプ・紙・紙加工品工業同0.2%が上昇した。
- (2) 5月の製造工業稼働率指数は、103.9で前月比1.7%の上昇であった。
業種別にみると、輸送機械工業同3.4%、電気・情報通信機械工業同4.4%、生産用機械工業同2.7%等が上昇し、金属製品工業同-3.8%、その他工業同-2.6%、鉄鋼・非鉄金属工業同-1.0%等が低下した。

製造工業生産能力指数・稼働率指数の時系列表
 Historical Data for Indices of Production Capacity and Operating Ratio

index,2015= 100

年 月	生産能力(末) Production Capacity			稼働率 Operating Ratio				Year and Month
	原指数 Original Index		前年(同月期)比 %Change From Previous Year	季節調整済指数 Seasonally Adjusted Index		原指数 Original Index		
	前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)	前年(同月期)比 %Change From Previous Year		前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)	前年(同月期)比 %Change From Previous Year			
2016 年	99.3		-0.4			98.5	-1.5	C.Y. 2016
2017	99.3		0.0			102.3	3.9	C.Y. 2017
2018	98.7		-0.6			103.1	0.8	C.Y. 2018
2016 年度	99.0		-0.6			99.2	-0.1	F.Y. 2016
2017	98.8		-0.2			102.7	3.5	F.Y. 2017
2018	98.7		-0.1			102.5	-0.2	F.Y. 2018
2018 年 I 期	98.8	-0.5	-0.2	102.2	-1.5	103.8	1.4	Q1 2018
II 期	98.4	-0.4	-0.6	103.3	1.1	101.8	0.6	Q2
III 期	98.5	0.1	-0.7	101.9	-1.4	101.0	-1.1	Q3
IV 期	98.7	0.2	-0.6	104.7	2.7	105.7	2.0	Q4
2019 年 I 期	98.7	0.0	-0.1	100.5	-4.0	101.5	-2.2	Q1 2019
2018 年 3月	98.8	-0.2	-0.2	103.7	0.9	112.2	1.4	Mar. 2018
4月	98.4	-0.4	-0.5	104.3	0.6	102.1	2.4	Apr.
5月	98.4	0.0	-0.5	104.0	-0.3	99.8	3.0	May
6月	98.4	0.0	-0.6	101.5	-2.4	103.5	-3.3	Jun.
7月	98.4	0.0	-0.8	101.3	-0.2	105.0	0.3	Jul.
8月	98.5	0.1	-0.7	102.8	1.5	97.1	-0.3	Aug.
9月	98.5	0.0	-0.7	101.7	-1.1	100.9	-3.3	Sep.
10月	98.7	0.2	-0.6	104.8	3.0	107.9	3.9	Oct.
11月	98.8	0.1	-0.5	105.0	0.2	107.2	2.9	Nov.
12月	98.7	-0.1	-0.6	104.2	-0.8	102.0	-0.7	Dec.
2019 年 1月	98.7	0.0	-0.3	100.0	-4.0	97.4	-0.2	Jan. 2019
2月	98.7	0.0	-0.3	101.0	1.0	99.8	-1.8	Feb.
3月	98.7	0.0	-0.1	100.6	-0.4	107.2	-4.5	Mar.
4月	97.9	-0.8	-0.5	102.2	1.6	101.6	-0.5	Apr.
5月	97.9	0.0	-0.5	103.9	1.7	99.7	-0.1	May

製造工業生産能力指数・稼働率指数の推移(グラフ)
 Historical Data (Graph) for Indices of Production Capacity and Operating Ratio



詳細は以下の経済産業省 HP をご参照下さい。(指数の動向資料 pdf へ)
https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_201905nj.pdf

3. その他の動向

■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2019年6月28日発表より抜粋
最新版月別出荷金額

【2019年4月概況】

- ・ 2019年4月のグローバル出荷額は3,141億円、前年比100.7%となり、前年比プラスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品（前年比104.7% 1,350億円）、接続部品（同100.9% 814億円）、変換部品（同92.5% 535億円）、その他の電子部品（同99.8% 440億円）となった。
- ・ 地域別出荷は日本（前年比92.6% 715億円）、米州（同106.8% 347億円）、欧州（同102.7% 340億円）、中国（同98.8% 1,060億円）、アジア・その他（同110.3% 681億円）となった。

【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額 (2019.06.28 発表：毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2019年度						2019年度累計	
	4月		5月		6月		4月-4月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
世界計	3,141	100					3,141	100
(日本)	715	92					715	92
受動部品	1,350	104					1,350	104
コンデンサ	974	107					974	107
抵抗器	129	95					129	95
トランス	37	94					37	94
インダクタ	206	102					206	102
その他	2	82					2	82
接続部品	814	100					814	100
スイッチ	394	117					394	117
コネクタ	415	89					415	89
その他	4	98					4	98
変換部品	535	92					535	92
音響部品	115	67					115	67
センサ	195	93					195	93
アクチュエータ	223	114					223	114
その他の電子部品	440	99					440	99
電源部品	164	85					164	85
高周波部品	276	110					276	110

【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額
«2019年度»

地域別出荷金額 (億円)	2019年度						2019年度累計	
	4月		5月		6月		4月-4月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,141	100					3,141	100
日本	715	92					715	92
米州	347	106					347	106
欧州	340	102					340	102
中国	1,060	98					1,060	98
アジア他	681	110					681	110

詳細は以下の JEITA HP をご参照下さい。

http://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html

以上